

リニア中止求め提訴 県内211人ら

建設中のリニア中央新幹線に反対する沿線住民らが20日、国を相手に、JR東海の工事実施計画の認可取り消しを求めて東京地裁に提訴した。原告は東京、神

奈川、山梨、長野、静岡などの738人で、県別では神奈川が211人で最多。県内でもこの日、原告の住民らが記者会見し、工事中

JR東海は東京―名古屋間を2027年に先行開業し、45年に大阪まで延伸する計画。国土交通省が14年に認可し、各地で工事が本格化している。訴状では計

画に対し、▽地震や火災発生時の安全対策に問題がある▽トンネル工事で地下水脈や南アルプスの自然環境を破壊する―などと主張している。

川崎市役所で会見した「リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会」共同代表の矢沢美也さん(69)は

「トンネルができるのと地価が下がる心配もあり川崎市民にとってメリットはない。計画を白紙に戻すべきだ」と訴えた。同市宮前区の主婦松岡かおるさん(68)も「トンネルができて地震が起きたら不安。近所の人たちも心配している」と話した。